

敬老の日 100歳おめでとどうぞございます

「これからも末永くお元気で！」

お生まれになった年は大正2年4月1日～大正3年3月31日です。

秋葉 節子 さん	勸修学区	丸山 宇三郎 さん	勸修学区
畔柳 いし さん	安朱学区	森田 カタ さん	安朱学区
石和 初枝 さん	小野学区	森本 サナエ さん	大宅学区
小川 ミナ さん	大塚学区	山川 せつ さん	山階学区
佐々木 美ぎれ さん	陵ヶ岡学区	山口 日吉 さん	陵ヶ岡学区
柴木 きみ さん	大塚学区	山元 静子 さん	鏡山学区
新谷 益子 さん	音羽川学区	吉田 クニ子 さん	山階学区
田中 エミ さん	鏡山学区	若林 芳子 さん	音羽学区
谷口 チドリ さん	鏡山学区	和田 コト さん	音羽川学区
丹波 孟子 さん	鏡山学区		
富田 アサ子 さん	山階南学区		
松田 きく さん	大塚学区		

●問合せ先/区支援課支援第二担当(☎592-3222)

第2回! 山科健康づくりサポーター

“キャットハンズ”と歩く健康ウォーキング

“キャットハンズ”とは、山科健康づくりサポーターの愛称です。私たちと一緒に楽しく多彩なコースを歩きませんか。

- 日時・コース/11月6日(水)
「ラクト山科公園～双林院(山科聖天)～毘沙門堂～一燈園前～ラクト山科公園」約4km(2時間程度)
※雨天中止
- 集合時間・場所/午前9時30分
ラクト山科公園集合(10時出発12時頃帰着予定)
- 対象/医師から運動制限をされていない、区内在住または通勤・通学をされている方(年齢制限はありませんが、コースを参考の上、ご自身の体調にあわせてご参加ください)
- 持ち物/飲み物・お持ちの方は歩数計・雨具等～歩きやすい服装と靴でご参加ください～
- 定員/先着50名(事前申込制)
- 申込み(11月6日実施分のみ)/10月16日(水)より、電話または次の内容を記載してFAX、メールにて

お申し込みください。

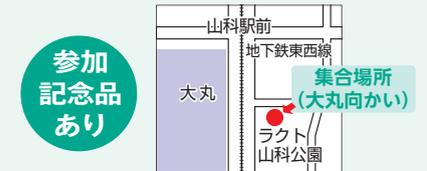
参加される方全員の

- ①氏名(ふりがな)②年齢③住所④連絡先(電話・FAX番号、メールアドレス等)⑤医師からの運動制限の有無

※先着順。定員になり次第受付を終了します。

受付終了後にFAXまたはメールでお申し込みされた場合は、ご記入された連絡先へ、後日連絡をさせていただきます。ご了承ください。

●問い合わせ先/区保健センター
成人保健・医療担当(☎592-3477、FAX 501-6831、e-mail:yamashina-kenko@city.kyoto.jp)



- 参加記念品あり
- 今後の予定/3回目
平成26年1月30日(木)午前予定(各回ごとに申込要)

参加募集 山科の魅力探訪

～あなたも山科の魅力の語り部になりませんか～

「京都山科東西南北」で紹介された山科の歴史的・文化的な史跡をはじめとする山科の魅力を3つのコースに分かれて探訪します。

講師の解説や参加者同士の交流から山科の魅力をより深く知り愛着を深めていただき、得られた知識を語り部として子どもや他の人に伝え、山科の魅力が広がっていくことを目的として実施します。

また、今年度から探訪のリピーターを増やし、語り部としての意識を高めて頂くことを目的として、解散時に参加者へ「修了証(仮称)」をお渡しします。

●日時/10月13日(日)午後1時～4時頃

●申込方法/9月20日(金)～10月7日(月)に区まちづくり推進担当まで直接来所にて申込み

●定員/コース①②は先着20名
コース③は先着10名

③コース③は急な山道のため体力に自信のない方にはお勧めできません。

●費用/200円(保険料及び資料代)

●探訪コース

①妙見道コース

地下鉄東野駅改札口前(集合)→山科川・上村堤防取水口→三ノ宮→車石灯籠→熊谷蓮心表徳碑→称名寺鋏痕観音→仏光寺舊址→(妙見寺)



京都刑務所→温室ぶどう園跡→ゴルフ道・農業用水路→實如・證如墓所→宝迎寺→「妙見宮」碑→旧東海道線引込線下通路跡→妙見寺

②山科本願寺と蓮如コース

六兵衛池公園(集合)→(渋谷街道西野道交差点)→西野道道標→西宗寺→本願寺跡遺跡(西野地域土塁等)→山科中央公園の本願寺遺跡(土塁等)→蓮如上人御廟所→蓮如上人銅像跡→東御坊→蓮如道道標→西御坊→(ゴルフ道)→實如・証如上人墓→(ゴルフ道)→御指図の井戸→本願寺南殿跡→光照寺(光照寺)



③大名岩コース

小山バス停(集合)→白石神社・ご神体→小山石切り場跡→大塚高岩(○)→天神社(大名岩)



●問合せ先/区まちづくり推進担当(☎592-3088)

★見どころは区ホームページで!

第19回

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

連載 区民活動きずなリレー

～素人が化ける!～こどもの創作劇(山科「きずな」支援事業補助金交付事業)

NPO法人山科醍醐こどものひろばでは、参加者が演出家とともに劇を作りあげる「こどもの創作劇」を毎年実施し、10月の公演に向け6月から練習を開始しています。

演出家の中田さんは6年前の立上げ時からこの創作劇に関わっています。「近頃は子どもも大人も演劇を見る機会が減りましたが、テレビ等とは違い、実際に役者がそこにいることでの観客の感じ方は演劇特有です。また同じ感動を一緒に味わったという共有感が生ま

れるのも演劇ならではの。」と語り、多くの人に演劇を見てもらいたいそうです。

取材に伺った日、練習の会場に集まっていたのは小学生から中学生、高校生、社会人と幅広い年代の方が30人。2～3人ずつウォーミングアップをした後、グループに分かれて相談しながら即興劇を考えていました。この創作劇の特徴は、最初は大きな設定のみ示し、参



ウォーミングアップ

加者がいろいろ想像して作る即興劇のセリフなどを取り入れて脚本を作ることだそうです。中田さんは役者がセリフを言わされている劇ではなく、自らの言葉でしゃべる劇にしたいそうです。

参加者の一人、小学校6年生の酒井さんは参加して今年で4年目。人前でしゃべることがすごく苦手だったのですが、たまたまスタッフに誘われたとのこと。「最初は演劇なんて自分にはとてもできないと思ったけど、やってみたら大勢の人前で演じるのが楽しかった。」そうです。「自己紹介の時、無言で固まってしまう子もいて、最初の自分を思い出します。」という酒井さん。今では初めての子を助けるお姉さんの存在になったようです。

立上げメンバーの一人である制作の堤さんは「自分に自信が持てず、コミュニケーションが苦手な子がとても多いです。演劇では、各自の表現をまず認め、自分と他人との違いに気付くことになるので、ぶつかることも多いですが、そこを乗り越え、自分で何かをつかんだ時の子どもたちの変化にはいつも驚かされます。」



大人も子どもも混ざって話し合います

今年の公演は10月12日(土)19時、13日(日)13時、いずれも東部文化会館です。お楽しみに!

●問合せ先/区総務・防災担当(☎592-3066)